

平成 29 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司
(JASDAQ・コード 6634)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 石原 直樹
電 話 03-5766-9870

特別損失(減損損失)の計上及び通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 11 月期第 3 四半期（平成 29 年 6 月 1 日～8 月 31 日）におきまして、当社が保有する関係会社株式及びのれんの減損処理を行い、これに伴い、特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

また、以下のとおり平成 29 年 8 月 10 日に公表しました平成 29 年 11 月期（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日）の業績予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 関係会社株式の評価減（個別決算）

当社関係会社を取り巻く環境の変化及び収益性改善に向けた取り組みの遅れなどにより、将来の資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当社の連結子会社株式会社イーフロンティア（以下「イーフロンティア」という。）株式を減損処理し、関係会社株式評価損として 20,002,669 円を特別損失として計上する見込みとなりました。

また、当社の連結子会社株式会社バーサタイル（以下「バーサタイル」という。）の株式を減損処理し関係会社株式評価損として 400,499,999 円を特別損失として計上する見込みとなりました。

なお、これらは、連結上、消去されるため、連結決算に影響はございません。

(2) 減損損失（連結決算）

連結決算においてイーフロンティアに係るのれんの減損処理を行い、204,866,437 円を特別損失として計上する見込みとなりました。

また、バーサタイルにおいて、商標権を減損処理し 734,899,000 円を、バーサタイルの連結子会社の MEC（以下「MEC」という。）に係るのれんの減損処理を行い 424,701,034 円を、固定資産の減損処理を行い 7,008,954 円を、特別損失として計上する見込みとなりました。これらに伴い当社においてバーサタイルに係るのれんの減損処理を行い、326,695,461 円を特別損失として計上する見込みとなりました。

さらに、当社の持分法適用関連会社の株式会社ネクス・ソリューションズ（以下「ネクス・ソリューションズ」という。）において、平成 29 年 8 月 10 日に開示した「子会社の異動（株式譲渡）及び連結子会社株式の一部譲渡による特別損失発生に関するお知らせ」のとおり、当社が当社の持分法適用関連

会社株式会社カイカにネクス・ソリューションズ株式を売却したことに伴うのれんを 107,773,160 円減損する見込みとなりました。

2. 業績予想修正内容

(単位:百万円未満切り捨て)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	12,577	12	△262	2,243	150.83
今回修正予想(B)	12,399	△72	△261	1,618	108.79
増減額(B-A)	△178	△85	1	△624	
増減率(%)	△1.42	—	—	△27.85	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 11 月期)	12,231	△619	△770	△1,068	△71.77

3. 修正の理由

連結子会社の売上が予定を下まわったため、売上が減少しました。

また、連結子会社の販管費の増加により営業利益が減少しました。

「1. 特別損失の計上について」に記載のとおり、平成 29 年 11 月期第 3 四半期において特別損失を 1,805 百万円計上する見込みとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、減少額は、624 百万円に留まっております。これは、平成 29 年 8 月 31 日に開示した「持分法適用関連会社の株式譲渡による特別利益上に関するお知らせ」のとおり、当社持分法適用会社カイカの株式の一部を譲渡したことにより約 440 百万円の特別利益を計上したこと及び平成 29 年 8 月 10 日付「子会社の異動(株式譲渡)及び連結子会社株式の一部譲渡による特別損失発生に関するお知らせ」において開示した当社が当社の持分法適用関連会社株式会社カイカにネクス・ソリューションズ株式を売却した際の特別損失が当初の予想を下回ったことが要因となります。

これらにより、前回発表予想を下回る数値に修正するものであります。

以 上